



2024年1月15日

各 位

株式会社スーパーバリュー
代表取締役執行役員社長 内田貴之
(コード番号 3094)
(問い合わせ先)
常務取締役執行役員 中谷圭一
電話 048-778-3222(代)

**中期経営計画の策定、業績予想及び配当予想の修正並びに
資金使途の変更に関するお知らせ**

当社は、本日開催の取締役会において、2024年2月期をスタートとする、中期経営計画（2024年2月期から2027年2月期）（以下、「本中期経営計画」という。）を策定し決議いたしました。また、2023年10月16日に公表しました「2024年2月期 第2四半期決算短信」（以下、「当第2四半期決算短信」という。）におきまして、2024年2月期の業績予想及び配当予想を未定としておりましたが、本中期経営計画の策定に伴い、通期業績予想及び配当予想を修正することを決議しました。なお、2023年2月6日付で「株式会社ロピア・ホールディングスに対する第三者割当による新株式の発行に関するお知らせ」（以下、「当第三者割当増資」という。）においてお知らせいたしました、当第三者割当増資で調達した資金の支払予定時期について、変更することを決議いたしましたので、合わせてお知らせいたします。なお、株式会社ロピア・ホールディングスは、2023年5月1日付で、株式会社O I Cグループ（以下、「親会社」という。）に商号変更しております。

記

1. 中期経営計画

① 計画期間

2024年2月期から2027年2月期（4ヶ年）

② 基本方針

当社は、2024年2月期を始期とする4ヶ年は、当第三者割当増資に記載したとおり、親会社の子会社で食品スーパーマーケットの運営等を行う株式会社ロピア（以下、「ロピア」という。）とのシナジー効果の早期発揮に向けて様々な取り組みを進め実現させる期間としております。

③ 基本戦略

当社は、当第三者割当増資及び2023年11月8日付で公表しました「経営及び業務の指導等に関する業務委託契約の締結に関するお知らせ」（以下、「当業務委託契約」という。）に記載したとおり、2023年2月期（前期）において2期連続して赤字であり、財務基盤も決して強固なものではなく、未だ取引金融機関10行から借入返済猶予をいただいている状況であります。また、このような厳しい事業環境・経営環境が続くなど、当社の財務状況が悪化していく中では、取引金融機関から支払期限のリスケジュール等の更なる金融支援を受ける

ことは非常に厳しい状況にあり、当社の安定的な事業継続・中長期的な視野に立った成長の実現可能性を維持するためには、足元の資金繰りや営業キャッシュ・フローの悪化等を抜本的に解決する必要性が生じております。

このような状況で、現状の業績回復ペースでは、ロピアとのシナジー効果を大きく見込んでいる「既存店改装によるモデル店等の構築」に充てる資金が十分に捻出できない状況であります。そこで、当社は、当第三者割当増資による調達資金によって、当社とロピアとの共同開発によるモデル店の構築を進め、抜本的に売上高及び収益の改善を図り、店舗オペレーションの改善の効果やノウハウを当社の既存店舗に拡大導入することで、更なる売上高及び収益の改善を図り、また自己資本の増強になる財務基盤の強化も合わせて進めてまいります。

④ 施策

当社は、更なる売上高及び収益の改善を図るため、以下のような具体的な施策を実施して業績改善を進めてまいります。

㊦ロピアとの共同開発による改装モデル店の構築

- ・小規模投資によるレイアウト変更
- ・中規模投資による小型店改装モデル
- ・大規模投資による大型店改装モデル

㊧ロピアの加工センターからの精肉・鮮魚の商品仕入れ等

- ・精肉・鮮魚のアウトパック商品をロピア草加センターから仕入れ
- ・青果の安定供給のため親会社の子会社（以下、「グループ子会社」という。）から仕入れ

㊨ロピアのプライベート商品（以下、「PB商品」という。）をグループ子会社から直仕入れ

- ・グループ子会社から、輸入品・国内PB商品の直仕入れ
- ・グループ子会社から、日配・惣菜のPB商品の直仕入れ

㊩ホームセンターの商品の改廃とロス削減

- ・販売商品の改廃や在庫の適正化
- ・値引きロス・廃棄ロスの削減

㊪会員カードのポイント付与の変更または廃止

- ・クレジット決済によるポイント付与を廃止
- ・月間ボーナスポイントの付与の変更
- ・改装モデル店のリニューアルオープン後の会員カードを廃止、加えてクレジット決済を廃止

㊫不採算店舗の閉店

- ・賃貸借契約等満了に伴う一部店舗の閉店
- ・転貸による一部店舗の閉店

㊬不採算店舗等の転貸

- ・一部店舗のホームセンター等をテナント化

⑤ 経営目標

当社は、事業の収益性を表す指標として売上高経常利益率を設定し、惣菜及び生鮮3品のウエイトアップ等により、売上高経常利益率4.0%を目標として掲げております。

引き続き、消費者の皆様から圧倒的なご支援を得る店舗づくりを進め、効率的で収益性の高いビジネスモデルの充実に取り組みを続けることにより、目標の達成に努めてまいります。

なお、当中期経営計画は、前述の「② 基本方針」に記載のとおり、ロピアとのシナジー効果の早期発揮に向けて様々な取り組みを実現させる期間であります。掲げている売上高経常利益率4.0%の目標については、当中期経営計画を遂行しながら、次なるステップとして取り組みを進めてまいります。

⑥ 業績の見通し

当業務委託契約に記載したとおり、ロピアとのシナジー効果の早期発揮に向けて様々な取り組みを進めてまいりました。ロピアとの共同開発によるモデル店の構築では、大型店舗として、2023年4月に杉並高井戸店及び同年9月に戸田店の改装を実施し、大型店舗以外の店舗として2023年7月に等々力店、同年11月に府中新町店及び同年12月に草加店の店舗改装を実施し、それぞれリニューアルオープンいたしました。なお、2024年2月に川口伊刈店のリニューアルオープンを予定しております。また、グループ子会社で青果販売に強い株式会社アキダイ（以下、「アキダイ」といいます。）とコラボした青果テナントを、等々力店及び府中新町店で出店いたしました。なお、不採算店舗の対策として、賃貸借契約満了に伴い2023年9月に春日部武里店、2024年1月に見沼南中野店をそれぞれ閉店しております。また、採算店舗のうち複数店舗について、協議を進めている継承先と基本合意し、各種条件について協定し、具体的な継承日程及び継承に伴う固定資産等の譲渡内容等については、今後の協議で決定することになっております。なお、各種条件に満たない場合には未決となります。

また、5月中旬よりロピアの加工センターからの精肉・鮮魚の商品仕入れ、ロピアのプライベート商品の拡充及びロピアの商品仕入れ先の紹介等による商品仕入れの見直し、更に9月より安定供給及び原価低減のため、ロピアと共同で、グループ会社から埼玉県の本社店舗に青果の供給を開始しました。加えて、2023年6月より会員カードのポイント付与の見直し、改装モデル店舗についてはクレジット決済とともに廃止し収益改善に取り組みました。

しかしながら、改装モデル店舗の構築は、改装中は店舗休業が伴うことからその期間の売上高及び売上総利益が減少し、固定費の負担、改装に伴う一時経費や固定資産等の処分費用等があり、一時的に損失等が発生いたします。また、リニューアルオープン後は集客等のための販売促進等の展開や新規投資による固定資産の減価償却費等の経費増加等もあり、軌道に至るまでに期間がかかること、今後の改装モデル店舗についても同様の損失等が発生すること、また改装モデル店舗以外で、ロピアの加工センター商品やロピアのプライベート商品の取り扱いが順次進めておりますが、売れ筋商品の選別や既存商品等の改廃等の調整等もあり、効果発現には期間を要すること等から、当期（2024年2月期）及び来期（2025年2月期）はそれぞれ当期純損失となる計画であります。なお、各種仕入原価低減が順次進み、先行してリニューアルオープンした店舗の収益改善等により、再来期（2026年2月期）より黒字化する計画であります。

また、ロピアとのシナジー効果の発揮を目的とした新しい店舗フォーマットを早期に構築するため、2023年3月1日付で業務改革プロジェクトを立ち上げ、そのメンバーにロピアからロピアの販売・仕入、販売促進及び店舗運営等を熟知した者を受け入れ、当社と共同で改革を進め、同じく、当社の店舗の閉店または転貸等についての計画、実施及び後継テナント等の誘致交渉並びに契約等について、当社が主体となって行っておりますが、親会社とのスケールメリット等を活かすため、親会社との間で2023年3月1日付に業務委託契約を締結して進めてきましたが、これまでの支援実績を踏まえ、当業務委託契約に記載のとおり、派遣人材の確保を含め、更なる経営及び業務指導の支援強化を図るため当該業務委託契約を締結し取り組みを進めております。

今後につきましても、ロピアとのシナジー効果を発揮することで、抜本的に売上高及び収益の改善を図り、その店舗のオペレーションの改善の効果やノウハウを当社の既存店舗に拡大導入し、あわせて自己資本の増強による財務基盤の強化も行うよう取り組んでまいります。

⑦ 数値計画

	2023年2月期	2024年2月期		2025年2月期		2026年2月期		2027年2月期	
			前期増減率		前期増減率		前期増減率		前期増減率
売上高	67,792百万円	70,431百万円	3.9%	71,407百万円	1.4%	68,956百万円	△3.4%	66,800百万円	△3.1%
営業利益	△1,624百万円	△2,082百万円	—	△1,619百万円	—	256百万円	—	726百万円	187.7%
経常利益	△1,526百万円	△1,985百万円	—	△1,520百万円	—	352百万円	—	818百万円	132.3%
当期純利益	△1,937百万円	△2,072百万円	—	△1,606百万円	—	212百万円	—	607百万円	185.8%
自己資本比率	33.6%	24.8%	—	18.0%	—	20.7%	—	24.1%	—

(注) 営業利益、経常利益及び当期純利益の△は各々の損失。

2. 通期業績予想の修正

2024年2月期通期業績予想の修正 (2023年3月1日～2024年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	70,431	△2,082	△1,985	△2,072	△163.51
増減額 (B - A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (2023年2月期)	67,792	△1,624	△1,526	△1,937	△255.21

(注) 営業利益、経常利益及び当期純利益の△は各々の損失。

修正理由

2024年2月期の通期業績予想につきましては、当第2四半期決算短信において、未定としておりましたが、本中期経営計画の策定に伴い、2024年2月期の計画を通期業績予想といたしました。

なお、詳細等につきましては、本中期経営計画の「1. 中期経営計画 ⑥業績の見通し」をご参照ください。

3. 配当予想の修正

2024年2月期 期末配当

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2023年10月16日)		—	—
今回予想		0円00銭	0円00銭
当期実績	0円00銭		
前期実績 (2022年2月期)	0円00銭	0円00銭	0円00銭

修正理由

当社は、将来の事業展望と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様に対して適正かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。

また、当社の剰余金の配当は、期末配当の年1回を基本方針としております。

しかしながら、2024年2月期の配当につきましては、当第2四半期決算短信において、未定としておりましたが、今回の通期業績予想の修正等を踏まえ、誠に遺憾ながら無配に修正させ

ていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、可能な限り早期に復配できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

4. 資金使途の変更

① 変更の理由

当社は、当第三者割当増資に記載のとおり、当社とロピアの共同開発によるモデル店の構築を進めてまいりました。しかしながら、本中期経営計画の策定に伴い支払予定時期を変更することにいたします。

具体的な、変更は以下の「②変更の内容」のとおりであります。

② 変更の内容

本中期経営計画に記載のとおり、当社とロピアとの共同開発によるモデル店の構築を順次進めており、大型店舗の改装は、2023年4月に杉並高井戸店、同年9月に戸田店の2店舗、大型店舗以外の店舗改装として2023年7月に等々力店、同年11月に府中新町店、同年12月に草加店をそれぞれリニューアルオープンいたしました。ロピアの加工センターからの精肉・鮮魚の商品仕入れやロピアのプライベート商品の拡充、並びに会員カードのポイント付与の変更等は順次進んでいるものの、不採算店舗対策として閉店した店舗の影響や競合他社の動向、加えて、ウクライナ情勢等の長期化や円安等による資源価格の高騰等を考慮し、大型店舗の改装を2023年に4店舗、2024年に6店舗と当第三者割当増資に記載おりましたが、上記の理由から既存店改装モデル店等の変更やそれに伴う改装時期の変更により支払予定時期を変更いたします。

なお、具体的な使途については、改装モデル店舗の構築費用に充てることから、変更はありません。

③ 変更の使途及び支払予定時期

資金使途等の変更内容は次のとおりであります。（変更箇所は下線で示しております。）

【変更前の内容】

具体的な使途	金額	支出予定時期
(1) 既存店改装によるモデル店等の構築費用	2,300百万円	2023年4月～ <u>2025年2月</u>
(2) 運転資金	1,661百万円	2023年4月～ <u>2025年2月</u>

【変更後の内容】

具体的な使途	金額	支出予定時期
(1) 既存店改装によるモデル店等の構築費用	2,300百万円	2023年4月～ <u>2027年2月</u>
(2) 運転資金	1,661百万円	2023年4月～ <u>2025年2月</u>

④ 今後の見通し

本中期経営計画の「1. 中期経営計画 ⑥業績の見通し」をご参照ください。

以 上